

堺研究

第 47 号

令和 7 年 3 月



目 次

戎嶋芝居考

……………齊藤 利彦（1）

中世後期の臨済宗法燈派と堺

……………岡本 真（45）

史料紹介

堺県布達について（三）

……………大久保 雅央（79）

（表紙解説）

絵図「第五回内国勸業博覧会 正門表面之図」

「大阪毎日新聞」明治36年1月1日6906号附録

令和7年（2025年）4月から大阪の夢洲で日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催されます。日本では過去さまざまな博覧会が開催されましたが、大阪市が第一会場、堺市が第二会場になった博覧会として、明治36年（1903年）の「第五回内国勸業博覧会」があります。

内国勸業博覧会は国内の産業発展を促進するため、明治10年（1877年）に東京で始まった博覧会です。回を追うごとに盛り上がりを見せ、最後となった第五回内国勸業博覧会は、海外からの出展やエレベーター、会場のイルミネーションなど、当時の最先端の技術を感じることができ、153日間で約435万人もの人が訪れました。

表紙の絵図はその博覧会を紹介するもので、中央に会場正門の絵が描かれています。天王寺で開催され、場所は右上の地図で赤く塗られています。第二会場では堺の大浜公園に水族館が建設され、29の水槽とアシカ、オットセイなどを展示し、人気を博しました。

令和七年三月三十一日

堺研究 第四十七号

堺市堺区大仙中町十八番一号

編集兼
発行者 堺市立中央図書館

印刷所 真生印刷株式会社